

北海道・首都圏・東海・関西・九州 求職ニーズの地域格差

Contents

1. 希望の雇用形態	～フリーター及び一部のエリアの主婦層に脱アルバイト傾向～	2
2. 希望の職種	～不動産の人気「事務」が全国、エリア別とも完全制覇～	3
3. 希望の勤務日数	～北海道・九州が多く、首都圏・東海が少ないドーナツ型傾向～	4
4. 土日の就業希望	～東海を頂点に、主婦層は大多数が「土日休み」派～	4
5. 希望の勤務時間(平日)	～おしなべて「6時間以上7時間未満」が全国的傾向～	5
6. 希望の勤務時間(土日)	～東海、関西、九州の大学生は「土日こそ稼ぎどき!」～	5
7. 希望の時給	～希望最高額は首都圏の大学生で「1,218円」	6
8. 希望の通勤時間	～エリアによって通勤時間の許容範囲は異なる。最も許容範囲が広いのは首都圏、最も狭いのは北海道～	6

【調査概要】

- 調査方法 : インターネットアンケート
- 調査対象 : 北海道・首都圏・東海・関西・九州在住15～34歳男女
現在、「高校生、短大・専門学校生、大学生、大学院生、アルバイト・パート、派遣社員、契約社員、無職の人」且つ「過去1年以内にアルバイト・パート、派遣社員、契約社員の仕事に就いたことがある人」で、今後も「アルバイト・パート、派遣社員、契約社員」での就労を希望している人
- 調査期間 : 2007年2月
- サンプル数 : 6,941名
- ウェイトバツ : 対象者サンプル数が実際の人口の構成比と異なるため、総務省統計局の「平成14年就業構造基本統計調査」による非正規雇用就業人口に基づき、「属性・性別」ごとにウェイトかけた。

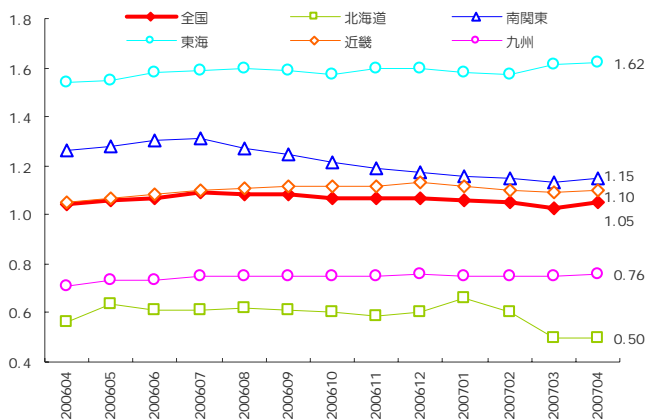
■サンプル数内訳

	北海道	首都圏	東海	関西	九州
高校生	47	247	144	147	58
短大・専門学校生	36	135	46	86	30
大学・大学院生	136	888	324	522	187
フリーター男性	30	248	67	101	45
フリーター女性	114	677	214	376	150
主婦	166	746	373	435	166

「anReport」では、求職者のライフスタイル、意識の変化、また人材採用・戦力化、等の各種アンケート調査を定期的実施。労働統計等の資料と併せ、毎月一回「トレンドDATA」として発表をしています。
株式会社インテリジェンス anReport編集部 E-mail:an_report@inte.co.jp

エリアで明らかに異なる有効求人倍率 採用に見る地域格差の実態とは...

参考 エリア別有効求人倍率の推移



資料出展▽

【参考1】厚生労働省「一般職業紹介状況」

北海道(北海道)、南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、東海(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)、近畿(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)、九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

若年層の労働人口が減少したり、正社員の採用が急速に落ち込んだり、あるいは景気が回復傾向となり人手不足の業種が増えてきたり…。つまりは、アルバイト・パートを取り巻く環境も絶えず変化を続けている。結果、採用にもさまざまな要因が影響し、ときに採用がしやすくなったり、ときに難しくなったりもする。

厚生労働省の「一般職業紹介状況」によると、2007年4月の有効求人倍率は1.05倍。ただし、これは全国平均での数値。全国をエリアに分けてみると、それぞれに違った表情を見せる。

たとえば、東海(含まれる都道府県はグラフ下の注釈を参照。他のエリアも同様)の同時期の有効求人倍率は1.62倍と、全国平均よりかなり高いことがわかる。しかも、全国平均がここ数年、ほぼ横ばい状態で推移しているのに対し、東海ではわずかずつではあるが上昇傾向にある。また、北海道と九州は1倍を下回っているが、とくに北海道は今年に入って一段と数値がダウンし、2007年4月は0.50倍と、全国平均の半分以下に落ち込んでいる。

有効求人倍率の例でもわかるように、一口に「雇用環境」と言っても、「全国」と「エリア」では、その中身が異なってくる。そこで今回は、アルバイト・パートの求職の際、その希望する条件についてエリアごとの違いをアンケート調査をし、採用に見る地域格差の実態を浮き彫りにしてみた。

1 希望の雇用形態

フリーター及び一部のエリアの主婦層に脱アルバイト傾向

希望する雇用形態は、各エリアとも、アルバイト・パート希望者が全体の約3分の2、それ以外(契約社員、派遣社員、その他)の希望者が約3分の1という割合でほぼ一致した(Graph1参照)。ただ、契約社員と派遣社員の割合に注目すると、北海道エリアだけは契約社員の方が人数が高くなっている。これは、北海道エリアにおける派遣事業所数・労働者派遣者数は他エリアに比べるとまだ少なく(右表参照)、派遣という働き方がまだあまり浸透していないためではないかと考えられる。

さらに、各エリアの結果を属性でより細かく分析してみると(表1参照)、フリーターと、首都圏・関西圏の主婦層の場合、アルバイト以外の雇用形態(特に派遣社員)を希望する割合が、特に高くなっている(フリーターは九州も高い)。ただ北海道エリアは、前述の通り、派遣という雇用形態がまだ浸透していないためか、同じアルバイト以外の雇用形態でも、派遣社員よりも契約社員を希望する割合が高いという特徴が見られる。また、フリーターに関しては、北海道を除くすべてのエリアでアルバイト・パート希望者が50%を下回るという結果となった。

参考) 地域ブロック別派遣事業所数 ※北海道・南関東・東海・近畿・九州のみ
2005年度「厚生労働省 労働者派遣事業報告書 都道府県別集計」(一般労働者派遣事業) 提出事業所数・登録者数

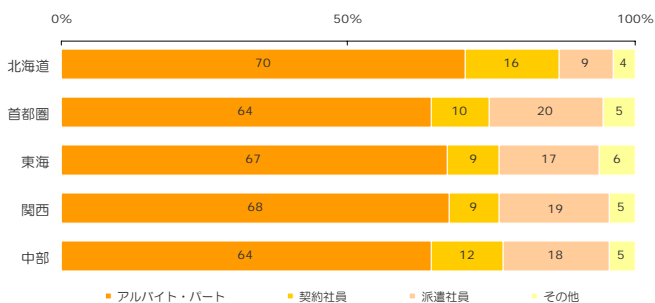
※南関東・・・東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県

エリア	事業所数	登録者数
北海道	457	30,233
南関東	5,195	870,860
東海	1,885	227,615
近畿	2,576	370,521
九州	1,232	156,898

表1. 希望雇用形態 <エリア×属性別> (単位: %)

エリア	属性	アルバイト・パート	契約社員	派遣社員	その他
北海道	高校生	95.7	4.3	0.0	0.0
	大学生	90.1	4.2	3.6	2.1
	フリーター	54.5	25.6	14.4	5.5
	主婦	75.3	13.3	7.8	3.6
首都圏	高校生	93.5	1.6	3.2	1.6
	大学生	89.4	3.3	4.2	3.1
	フリーター	46.6	15.6	29.2	8.5
	主婦	59.4	9.7	28.0	2.9
東海	高校生	93.1	2.1	2.8	2.1
	大学生	91.5	2.4	4.0	2.2
	フリーター	48.1	15.4	25.6	10.9
	主婦	74.8	5.1	17.7	2.4
関西	高校生	91.2	1.4	5.4	2.0
	大学生	93.1	1.6	4.1	1.2
	フリーター	49.8	14.7	27.5	8.0
	主婦	66.9	7.4	23.4	2.3
九州	高校生	96.6	0.0	1.7	1.7
	大学生	92.8	3.1	0.9	3.2
	フリーター	46.2	19.1	27.8	6.9
	主婦	73.5	8.4	17.5	0.6

Graph1. 希望雇用形態 <エリア別> (単位: %)



2 希望の業種

不動の人気「事務」が全国、エリア別とも完全制覇

全体で第1位となった「事務」は33.2%を占め(複数回答)、3人に1人はこの職種を希望していることになる。また、エリア別でもすべてで第1位となり、しかも2位に倍以上のポイント差をつけている。あらためて、この職種の人気の高さがわかる。また、2位には、時代を反映した「WEB関連専門職」(13.3%)が入っている。

「コンビニスタッフ」と「パチンコ」の人気高が特徴

■北海道

2位となった「スーパー/デパート/量販店のスタッフ」(14.6%)や3位の「商品検査・仕分け」(14.3%)は、全国平均より高く、北海道ではより人気の職種となっている。6位となった「コンビニスタッフ」も12.9%を占め、全国平均の9.4%をかなり上回った。また、10位の「キッチンスタッフ」(10.1%)は北海道だけがベスト10入りした職種。さらに、ベスト10圏外だが「パチンコ」(6.0%)は、他のエリアと比較すると群を抜いて高く、一方で「医療・福祉関連」や「美容関連の仕事・マッサージ」は、他のエリアに比べやや人気薄となっている。

表2-1. 希望する業種 (複数回答/単位: %) ※上位10職種のみ表示

全国		北海道		
1位	事務(テレマーケティングは除く)	33.2	事務(テレマーケティングは除く)	30.1
2位	WEB関連専門職	13.3	スーパー/デパート/量販店のスタッフ	14.6
3位	商品検査・仕分け	12.7	商品検査・仕分け	14.3
4位	スーパー/デパート/量販店のスタッフ	12.3	WEB関連専門職	13.9
5位	レストラン・カフェでのウェイトレス	12.0	レストラン・カフェでのウェイトレス	12.6
6位	レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	11.8	コンビニスタッフ	12.1
7位	塾講師・家庭教師・インストラクター	11.1	レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	11.4
8位	ファッション・アパレル販売	10.9	塾講師・家庭教師・インストラクター	11.1
9位	医療・福祉関連	10.0	ファッション・アパレル販売	10.3
10位	コンビニスタッフ	9.4	キッチンスタッフ	10.1

「マスコミ関連」「テレフォンポインター」の人気が高い。

■首都圏

ベスト10にいたっては、順位に若干の違いはあるものの、職種の顔ぶれはまったく同じだ。全国と比較しての違いとなると、ベスト10圏外だが「マスコミ関連」を希望する人が7.1%で、全国の6.3%より高く、またエリア別でももっとも高いポイントとなった。また僅かではあるが「テレフォンポインター」の割合も5エリア中最も高い。逆に、「商品検査・仕分け」や「製造・組立作業」「土木・建築関連」などの労務系の仕事の人気が他のエリアに比べ低くなっている。

首都圏		東海		
1位	事務(テレマーケティングは除く)	34.4	事務(テレマーケティングは除く)	28.3
2位	WEB関連専門職	13.4	WEB関連専門職	13.7
3位	商品検査・仕分け	11.6	塾講師・家庭教師・インストラクター	13.5
4位	レストラン・カフェでのウェイトレス	11.5	レストラン・カフェでのウェイトレス	13.1
5位	ファッション・アパレル販売	11.2	スーパー/デパート/量販店のスタッフ	12.7
6位	スーパー/デパート/量販店のスタッフ	11.2	商品検査・仕分け	12.5
7位	レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	11.1	レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	11.8
8位	塾講師・家庭教師・インストラクター	10.0	製造・組立作業	11.5
9位	医療・福祉関連	8.9	医療・福祉関連	10.5
10位	コンビニスタッフ	8.5	ファッション・アパレル販売	9.7

「塾講師・家庭教師・インストラクター」の人気高し

■東海

ポイントの高さで目立つものとしては、第3位に入った「塾講師・家庭教師・インストラクター」(13.5%)。時給が高く、シフトが組みやすい人気職種としてすべてのエリアでベスト10に入っているが、ポイントとしてはもっとも高かった。また、ベスト10圏外ではあるが「製造・組立作業」(11.5%)は、他のエリアとして比較して高く、とくに首都圏や九州の倍近い数値となっている。逆に、第1位ではあるものの「事務」が28.3%と、エリア別では唯一30%を下回った。

関西		九州		
1位	事務(テレマーケティングは除く)	33.7	事務(テレマーケティングは除く)	35.5
2位	商品検査・仕分け	14.7	WEB関連専門職	14.0
3位	スーパー/デパート/量販店のスタッフ	13.5	商品検査・仕分け	12.9
4位	レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	13.3	レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	12.5
5位	ファッション・アパレル販売	12.4	スーパー/デパート/量販店のスタッフ	12.3
6位	WEB関連専門職	12.3	レストラン・カフェでのウェイトレス	12.0
7位	レストラン・カフェでのウェイトレス	12.3	医療・福祉関連	10.9
8位	塾講師・家庭教師・インストラクター	12.1	塾講師・家庭教師・インストラクター	10.7
9位	医療・福祉関連	12.1	コンビニスタッフ	9.8
10位	コンビニスタッフ	10.9	ファッション・アパレル販売	7.6

関西で強い「商品検査」「ファッション」「医療・福祉」

■関西

上位では、2位の「商品検査・仕分け」が14.7%、5位の「ファッション・アパレル販売」が12.4%、9位に入った「医療・福祉関連」が12.1%と、それぞれエリア別ではもっとも高い数値となり、関西ではとくに人気職種と言えるだろう。それ以外では、概ね全国平均に近い数値となっているが、6位の「WEB関連専門職」は他のエリアと比較して若干人気が低いという結果となった。

表2-2. 希望する業種 (複数回答/単位: %)

	全国	北海道	首都圏	東海	関西	九州
事務(テレマーケティングは除く)	33.2	30.1	34.4	28.3	33.7	35.5
WEB関連専門職	13.3	13.9	13.4	13.7	12.3	14.0
商品検査・仕分け	12.7	14.3	11.6	12.5	14.7	12.9
スーパー/デパート/量販店のスタッフ	12.3	14.6	11.2	12.7	13.5	12.3
レストラン・カフェでのウェイトレス	12.0	12.6	11.5	13.1	12.3	12.0
レンタルビデオ・カラオケ・ゲームセンター・漫画喫茶	11.8	11.4	11.1	11.8	13.3	12.5
塾講師・家庭教師・インストラクター	11.1	11.1	10.0	13.5	12.1	10.7
ファッション・アパレル販売	10.9	10.3	11.2	9.7	12.4	7.6
医療・福祉関連	10.0	8.8	8.9	10.5	12.1	10.9
コンビニスタッフ	9.4	12.1	8.5	8.4	10.9	9.8
製造・組立作業	8.2	7.9	6.5	11.5	10.4	6.5
ホテル・レジャー・スポーツ施設スタッフ	8.0	8.3	8.0	6.8	8.9	6.7
キャンペーンスタッフ、イベントスタッフ(設営は除く)	7.8	9.3	7.6	8.7	7.8	6.5
居酒屋・バー	7.8	6.8	7.8	7.8	8.6	6.6
キッチンスタッフ	7.2	10.1	6.1	8.9	8.5	5.5
マスコミ関連	6.3	4.7	7.1	4.9	6.0	5.9
テレフォンポインター	5.9	6.2	6.3	4.4	6.0	5.5
イベント設営スタッフ	5.2	6.8	4.8	5.6	5.6	4.3
美容関連の仕事・マッサージ	5.2	3.1	5.3	4.1	6.3	4.4
ファーストフードスタッフ	4.4	5.6	3.5	6.6	4.9	3.8
フロアスタッフ・ラウンジスタッフ・コンパニオン	3.0	2.7	3.1	2.6	3.4	1.8
ドライバー、バイク便など運送関連の仕事・引越し	2.5	3.0	2.2	2.9	3.0	2.2
パチンコ	2.5	6.0	2.3	2.2	2.7	1.5
警備	2.1	1.1	1.9	2.7	2.4	2.1
営業	2.0	0.7	1.8	2.7	2.6	0.8
ガソリンスタンド	1.9	2.0	1.8	1.9	2.3	1.6
土木・建築関連	1.9	2.3	1.3	1.7	3.1	1.9
その他	10.0	11.3	10.8	8.0	10.0	7.6

全国的に人気の「事務」が九州ではさらに人気集中

■九州

特徴として、「事務」はどのエリアでも断トツで人気が高いが、とりわけ九州での人気の高さ(35.5%)が目立つ。また、かろうじてベスト10に入ったものの「ファッション・アパレル販売」の7.6%は、他のエリアと比較して数値は低い。その他、「パチンコ」「ホテル・レジャー・スポーツ施設スタッフ」「ガソリンスタンド」などのサービス系の職種の人気が他のエリアと比べ若干低いようだ。

3 希望の勤務日数

北海道・九州が多く、首都圏・東海が少ないドーナツ型傾向

まず、エリア別の1週間の希望勤務日数 (Graph3参照) を見ると、どのエリアも最も希望が多かったのは「週5日」で、とくに九州は45%、北海道は42%に達している。次いで多かったのは、「週3日」あるいは「週4日」でどのエリアも拮抗しているが、北海道だけは大きく「週4日」の希望者の割合が多くなっている。また、北海道は「週6日」の割合も他のエリアと比べ多く、平均希望勤務日数は4.2日と5エリア中最も多い。

次に、各エリアをさらに属性に分けて見てみよう (表3参照)。いずれのエリアも高校生・大学生と主婦層は「週3~4日」が、フリーターは「週5~6日」が最多ボリュームとなっている。1週間の平均希望勤務日数で比較してみると、高校生、大学生、フリーター、主婦の全ての属性において、北海道エリアが最も多くなっている。逆に日数が少ない属性は、高校生は東海エリア、大学生とフリーター、主婦層は首都圏エリアが最も低い。(フリーターは東海・関西エリアも低い)

Graph3. 希望勤務日数 <エリア別> (単位: %)

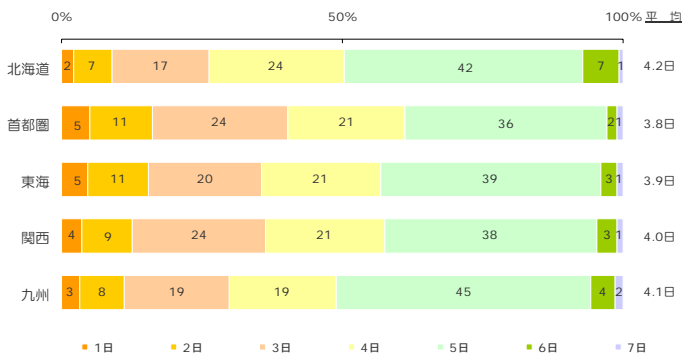


表3. 希望勤務日数 <属性×エリア別> (単位: %)

エリア	属性	1~2日	3~4日	5~6日	7日	平均(日)
北海道	高校生	12.8	66.0	21.3	0.0	3.7
	大学生	24.3	60.2	13.9	1.6	3.3
	フリーター	5.3	21.9	72.1	0.6	4.7
	主婦	3.0	53.0	43.4	0.6	4.2
首都圏	高校生	23.9	59.1	15.4	1.6	3.3
	大学生	38.6	49.8	11.2	0.4	2.9
	フリーター	4.3	34.0	59.6	2.1	4.5
	主婦	8.2	59.7	31.8	0.4	3.8
東海	高校生	31.3	51.4	16.7	0.7	3.2
	大学生	37.2	50.9	10.9	1.0	3.0
	フリーター	6.5	29.0	62.6	1.9	4.5
	主婦	5.6	54.7	39.7	0.0	4.0
関西	高校生	19.0	62.6	17.7	0.7	3.5
	大学生	27.7	60.0	11.8	0.5	3.1
	フリーター	5.1	28.1	64.7	2.1	4.5
	主婦	7.6	57.5	34.9	0.0	3.9
九州	高校生	12.1	70.7	13.8	3.4	3.6
	大学生	31.7	53.2	14.2	0.9	3.1
	フリーター	5.3	23.9	68.5	2.3	4.6
	主婦	3.0	49.4	47.6	0.0	4.2

4 土日の就業希望

東海を頂点に、主婦層は大多数が「土日休み」派

エリア別での土日の就業希望 (Graph4参照) は、どこもほぼ似たような結果となった。「土日とも休みしたい」が50%前後ともっとも多く、次いで「土曜だけ働きたい」が30%近く。ただ、わずかながら首都圏と東海エリアにこの両者が多いという特徴も見られる。

一方、エリアを属性でさらに分けてみると (表4参照)、各属性の傾向はくっきりと出た。どのエリアも高校生と大学生は「土曜だけ働きたい」が最多回答で、フリーターと主婦は「土日とも休みしたい」が最多回答となっている。とくに主婦は、東海で84%、他のエリアでも70%と、圧倒的に土日休みを希望しているという印象だ。また、「土日とも働きたい」に目を向けると、高校生とフリーターは九州が高く、大学生と主婦は北海道が高かった。土日勤務もまた、先の〈希望の勤務日数〉同様、ドーナツ型の傾向があるようだ。

Graph4. 土日の就業希望 <エリア別> (単位: %)

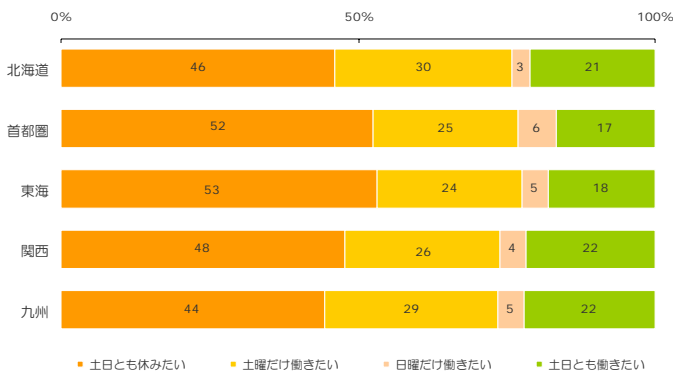


表4. 土日の就業希望 <エリア×属性別> (単位: %)

エリア	属性	土日とも休みしたい	土曜だけ働きたい	日曜だけ働きたい	土日とも働きたい
北海道	高校生	21.3	55.3	6.4	17.0
	大学生	21.2	42.8	6.3	29.8
	フリーター	48.0	26.4	2.2	23.4
	主婦	70.5	16.9	1.2	11.4
首都圏	高校生	19.0	51.8	8.9	20.2
	大学生	34.2	38.1	10.2	17.5
	フリーター	56.6	17.4	5.8	20.2
	主婦	81.2	12.2	1.6	5.0
東海	高校生	18.8	45.1	9.0	27.1
	大学生	31.9	39.6	9.4	19.1
	フリーター	55.6	20.7	2.8	20.9
	主婦	84.5	7.2	1.3	7.0
関西	高校生	19.0	51.0	6.8	23.1
	大学生	26.2	41.5	9.3	23.0
	フリーター	51.4	18.6	2.3	27.7
	主婦	77.0	14.3	2.3	6.4
九州	高校生	10.3	62.1	3.4	24.1
	大学生	27.0	43.8	8.5	20.7
	フリーター	44.6	23.4	3.9	28.0
	主婦	71.7	19.3	1.8	7.2

5 希望勤務時間(平日)

おしなべて「6時間以上7時間未満」が全国的傾向

エリア別での平日の希望勤務時間 (Graph5参照) だが、どのエリアも最多回答は「7～8時間」が40%前後、次いで「6～7時間」が30～35%といったところ。平均時間はもっとも短い関西と東海で6.0時間、もっとも長い首都圏で6.2時間と、各エリアとも平均時間はほぼ同じと言っていい。

では、属性別ではどうか (表5参照)。まず高校生だが、九州を除くエリアで「3～4時間」がもっとも多く、九州だけは「3～4時間」「5～6時間」がともに37.7%で同率となった。大学生は、北海道と首都圏で「5～6時間」が最多、東海、関西、九州で「3～4時間」が最多に。また、フリーターはどのエリアもすべて「7～8時間」の希望が最多となり、主婦は「5～6時間」の希望がもっとも多かった。加えて、少数派ではあるが「9時間以上」の勤務時間では、東海のフリーターが9.6%と突出して高い。

Graph5. 希望勤務時間(平日) <エリア別> (単位: %)

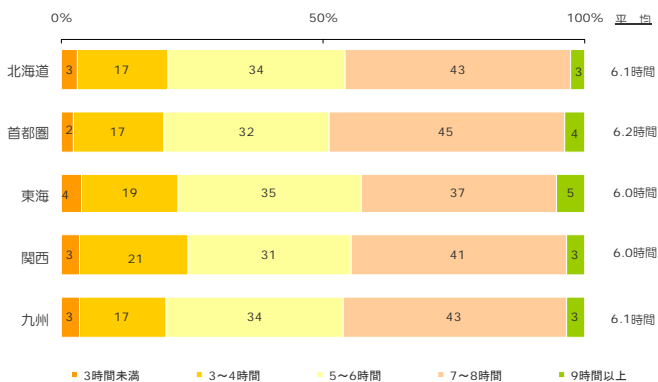


表5. 希望勤務時間(平日) <エリア×属性別> (単位: %)

地域	属性	3時間未満	3~4時間	5~6時間	7~8時間	9時間以上	平均(時間)
北海道	高校生	6.5	43.5	45.7	2.2	2.2	4.6
	大学生	7.6	30.6	41.1	18.7	2.0	5.1
	フリーター	2.0	5.7	19.5	68.1	4.7	7.0
	主婦	1.2	21.1	50.0	27.7	0.0	5.6
首都圏	高校生	6.3	50.2	34.1	8.1	1.3	4.5
	大学生	5.2	32.6	39.6	19.6	3.0	5.2
	フリーター	1.0	4.2	20.7	68.1	6.0	7.1
	主婦	1.4	16.6	46.1	35.4	0.5	5.8
東海	高校生	8.9	51.2	32.5	7.3	0.0	4.3
	大学生	10.0	36.1	34.8	17.0	2.2	4.8
	フリーター	1.5	4.7	26.8	57.5	9.6	7.0
	主婦	1.4	23.0	54.0	20.8	0.8	5.4
関西	高校生	5.1	56.2	24.1	11.7	2.9	4.6
	大学生	7.5	40.2	34.8	15.4	2.2	4.9
	フリーター	2.0	5.9	23.3	63.2	5.6	6.9
	主婦	0.9	19.6	47.8	31.2	0.5	5.7
九州	高校生	11.3	37.7	37.7	9.4	3.8	4.8
	大学生	7.8	37.2	35.8	17.7	1.5	4.9
	フリーター	1.9	6.8	26.3	59.9	5.2	6.8
	主婦	1.2	18.2	50.3	30.3	0.0	5.7

6 希望の勤務時間(土日)

東海、関西、九州の大学生は「土日こそ稼ぎどき！」

同じ希望勤務時間でも、土日であればどう変わるか。まずはエリア別 (Graph6参照) に見てみよう。全体の分布として、平日の場合とほぼ似た形ではあるが、最多回答の「7～8時間」と次いで多かった「5～6時間」のポイント差がより縮まった。また、「3～4時間」がどのエリアも平日より減っている。

その結果、平均希望勤務時間は、首都圏と九州が6.4時間、他のエリアは6.3時間と、いずれも平日の平均希望勤務時間よりも高くなった。

属性別 (表6参照) では、その変化の理由が見えてくる。高校生・大学生(一部のエリアを除く)は、平日では「3～4時間」が最多回答だったが、土日では「5～6時間」あるいは「7～8時間」が最多に変わっている。つまり、平日は学校やクラブ活動等で忙しい高校生、大学生だが、時間のある土日にはしっかり稼ぎたい。そういう背景が考えられる。逆に、平日はどのエリアも「7～8時間」希望が最多だったフリーターは、首都圏、東海、関西で「5～6時間」に減っており、平日はしっかり働き、土日は平日よりもやや抑えて働くことを望んでいるようだ。

Graph6. 希望の勤務時間(土日) <エリア別> (単位: %)

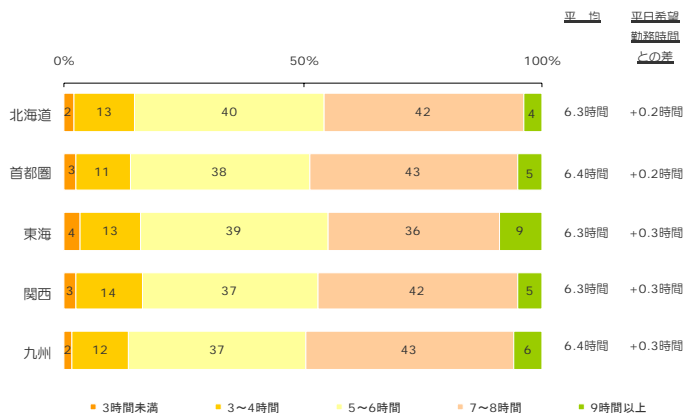


表6. 希望の勤務時間(土日) <エリア×属性別> (単位: %)

地域	属性	3時間未満	3~4時間	5~6時間	7~8時間	9時間以上	平均(時間)	平日希望勤務時間との差
北海道	高校生	2.7	18.9	51.4	24.3	2.7	5.7	1.1
	大学生	2.9	14.0	42.5	33.6	7.0	6.2	1.1
	フリーター	3.3	5.3	35.1	42.8	13.4	6.8	-0.2
	主婦	5.0	10.0	53.0	32.0	0.0	5.4	-0.2
首都圏	高校生	2.0	11.4	46.3	36.9	3.4	5.6	1.1
	大学生	2.5	4.1	29.1	59.5	4.8	6.1	0.9
	フリーター	3.4	27.6	44.8	20.7	3.4	6.8	-0.3
	主婦	3.8	15.4	57.7	17.3	5.8	5.9	0.1
東海	高校生	2.0	9.4	26.9	56.3	5.5	5.9	1.6
	大学生	1.4	19.3	45.0	33.6	0.7	6.0	1.2
	フリーター	2.5	24.4	37.8	31.9	3.4	6.8	-0.2
	主婦	2.6	14.8	43.1	35.8	3.8	5.4	-0.0
関西	高校生	2.0	20.4	57.1	20.4	0.0	5.8	1.2
	大学生	0.0	22.2	45.3	25.6	6.8	5.9	1.0
	フリーター	3.7	19.6	40.7	31.6	4.5	6.8	-0.1
	主婦	0.0	5.4	30.7	56.0	7.9	5.8	0.1
九州	高校生	2.5	24.0	47.5	23.0	3.0	5.6	0.8
	大学生	4.6	16.3	41.0	33.8	4.3	6.1	1.2
	フリーター	0.8	7.6	29.4	54.8	7.4	6.9	0.1
	主婦	4.3	34.0	40.4	19.1	2.1	5.2	-0.5

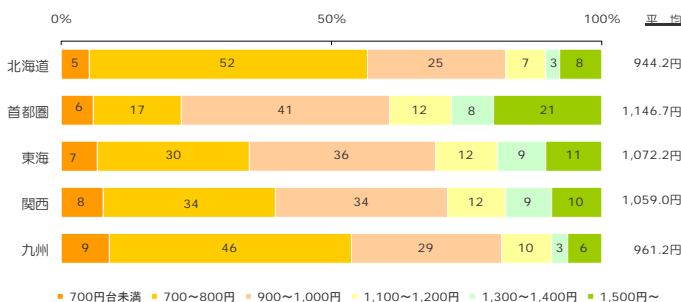
7 希望の時給

希望最高額は首都圏の大学生で「1,218円」

まず、エリア別の平均希望時給 (Graph7参照) だが、もっとも高かったのは首都圏の1,146円 (1円未満切り捨て) で、もっとも低かったのは北海道の944円。その内訳だが、「700~800円」が最多となったのは北海道 (52%) と九州 (46%) で、関西は「700~800円」と「900~1,000円」が同率 (34%)、首都圏と東海では「900~1,000円」が最多となった。

さらに属性の違い (Graph7-2,表7参照) を見てみると、最多回答が「900~1,000円」となったのは、首都圏の大学生、フリーター、主婦、東海の大学生とフリーター、そして関西のフリーター。とくに首都圏の大学生は55%が「900~1,000円」を希望し、結果、属性別の平均時給も1,218円ともっとも高い。また、北海道と九州はすべての属性で「700~800円」が最多回答となっている。

Graph7. 希望最低時給 <エリア別> (単位: %)



Graph7-2. 希望最低時給 <属性別> (単位: %)

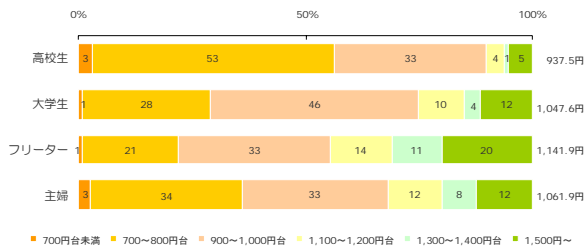


表7. 希望最低時給 <エリア×属性別> (単位: %)

エリア	属性	700円未満	700~800円	900~1,000円	1,100~1,200円	1,300~1,400円	1,500円~	平均 (円)
北海道	高校生	23.4	53.2	19.1	2.1	0.0	2.1	838.3
	大学生	3.4	52.8	24.2	7.1	1.6	10.9	1,081.0
	フリーター	1.2	48.4	28.9	8.3	3.9	9.4	1,115.9
首都圏	高校生	0.4	47.4	39.7	4.9	0.4	7.3	964.4
	大学生	0.7	16.3	54.5	12.3	4.3	11.9	1,218.3
	フリーター	0.4	12.1	33.2	13.4	11.2	29.7	1,035.8
東海	高校生	0.7	52.1	36.8	4.9	1.4	4.2	975.9
	大学生	0.7	28.8	46.0	9.7	3.6	11.2	1,133.8
	フリーター	1.4	22.6	34.7	14.6	13.7	12.9	922.4
関西	高校生	0.0	41.0	29.0	13.1	9.1	7.8	940.1
	大学生	0.7	65.3	25.2	3.4	1.4	4.1	903.6
	フリーター	0.2	42.1	36.3	6.4	2.7	12.3	943.4
九州	高校生	0.9	23.8	35.0	15.7	14.1	10.5	1,020.5
	大学生	0.7	37.9	32.2	13.3	7.6	8.3	995.4
	主婦	15.5	53.4	24.1	1.7	5.2	0.0	970.0

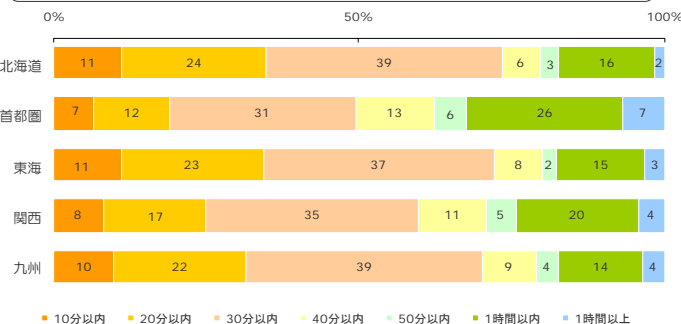
8 希望通勤時間

エリアによって通勤時間の許容範囲は異なる。最も許容範囲が広いのは首都圏、最も狭いのは北海道。

希望の通勤時間、つまりは通勤時間の許容範囲だが、まずはエリア別 (Graph8参照) で見てみると、どのエリアも「30分以内」が最多回答となったが、2番目以降はエリアによって差が出た。首都圏と関西は「1時間以内」が次いで多く、北海道、東海、九州は「20分以内」が多かった。

属性別 (Graph8-2,表8参照) では、首都圏のフリーター、東海の子主婦、九州の高校生を除くすべての属性で「30分以内」が最多回答となった。また、「1時間以内」では、首都圏のフリーター (31.6%)、大学生をはじめ、北海道の大学生、フリーター、関西のフリーターが20%を超えている。

Graph8. 希望の通勤時間 <エリア別> (単位: %)



Graph8-2. 希望の通勤時間 <属性別> (単位: %)

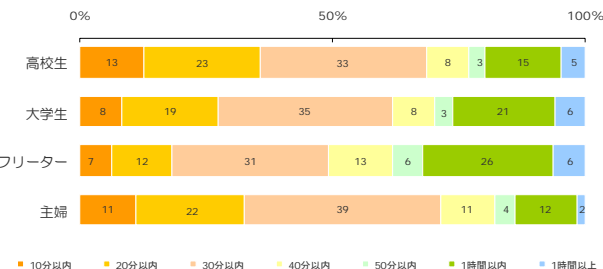


表8. 希望の通勤時間 <エリア×属性別> (単位: %)

エリア	属性	10分以内	20分以内	30分以内	40分以内	50分以内	1時間以内	1時間以上
北海道	高校生	4.3	34.0	38.3	14.9	0.0	8.5	0.0
	大学生	5.0	19.5	46.9	3.2	2.9	20.1	2.4
	フリーター	10.4	22.8	34.9	4.7	2.8	22.2	2.2
	主婦	19.9	25.3	39.2	8.4	3.6	3.0	0.6
首都圏	高校生	13.4	21.5	35.6	7.7	3.6	13.8	4.5
	大学生	7.5	15.9	31.4	9.2	4.2	24.8	7.1
	フリーター	3.9	7.4	26.5	14.4	7.1	31.6	9.0
	主婦	10.2	15.7	37.0	15.3	4.2	15.7	2.0
東海	高校生	16.0	20.1	29.2	6.9	3.5	17.4	6.9
	大学生	10.5	27.9	36.6	6.0	2.4	12.4	4.2
	フリーター	10.3	16.7	40.4	10.6	2.1	17.6	2.4
	主婦	12.3	34.9	34.0	4.3	2.9	8.8	2.7
関西	高校生	11.6	22.4	30.6	7.5	4.1	17.7	6.1
	大学生	9.4	19.0	36.4	8.8	3.0	18.1	5.3
	フリーター	6.9	12.4	30.3	14.4	6.0	25.6	4.3
	主婦	9.0	20.9	44.1	7.8	4.8	12.0	1.4
九州	高校生	15.5	32.8	22.4	8.6	1.7	17.2	1.7
	大学生	8.5	23.5	43.5	6.0	2.5	12.7	3.2
	フリーター	10.1	17.0	35.6	10.8	5.3	16.1	5.1
	主婦	10.2	28.9	44.0	7.2	0.6	9.0	0.0